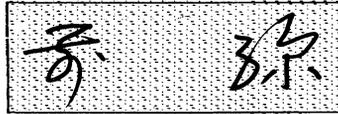


国際学術団 体について



用語解説 (12)

気象学的发展にとっては、国際的な学術交流をさかんにすることが一つの重要な要件である。

WMO (世界気象機関), IAMAP (国際気象学・大気物理学協会) などは、気象庁、日本気学会と密接な関連性を持っている。

以下、気象学に関連深い国際学術団体について一覧してみよう。

そも、そも、国際学術団体には、政府間団体と非政府間団体とがある。

WMO は政府間団体で、政府が、それへの分担金を支払っている。IAMAP は非政府間団体で、日本学術会議が、それへの分担金を支払っている。

日本学術会議には、1部 (文学、哲学など) 2部 (法学など) 3部 (経済学など) 4部 (気象学など理学一般) 5部 (工学など) 6部 (農学など)、7部 (医学など) があり、それぞれの部は、次の国際学術団体と関連を保っている。

CIPSH 国際哲学人文科学協会 (1部)

ISSC 国際社会科学協会 (2, 3部)

ICSU 国際学術連合会議 (4部)

UATI 国際工学団体連合 (5部)

CIOMS 国際医学団体協議会 (7部)

6部の農学に関連する国際学術団体は、それぞれの学問分野での国際団体はあるが、農学全般にわたる国際団体はない。

日本学術会議が分担金を支払っている国際団体は4部関係がいちばん多い。

気象に関係ある国際学術団体として非政府間団体には会議として ICSU がありその他いくつかの委員会がある。すなわち

1. 国際学術連合会議 (ICSU)

(International Council of Scientific Unions)

1) 国際測地学・地球物理学連合 (IUGG)

International Union of Geodesy and Geophysics

(1) 国際地震学・地球内部物理学 (IASPEI)

International Association of Seismology and Physics of Earth's Interior.

(2) 国際気象学・大気物理学協会 (IAMAP)

International Association of Meteorology and Atmospheric Physics.

(3) 国際地球電気磁気学・

超高層物理学協会 (IAGA)

International Association of Geomagnetism and Aeronomy.

(4) 国際海洋科学協会 (IAPSO)

International Association for Physics of the Ocean.

(5) 国際陸水学協会 (IASH)

International Association of Scientific Hydrology.

(6) 国際火山学・地球内部化学協会 (IAVCEI)

International Association of Volcanology and Chemistry of Earth's Interior.

(7) 国際測地学協会 (AIG)

International Association of Geodesy.

2) 国際電波科学連合 (URSI)

International Union of Radio Science.

3) 国際地質学連合 (IUGS)

International Union of Geological Sciences.

などがある。

日本学術会議には、部会他に、常置委員会、特別委員会、研究連絡委員会がある。

地球物理学研究連絡委員会は、IUGG に対応している。

また研究連絡委員会には、分科会がある。日本気象学会から選出されている委員で構成されている気象分科会は IAMAP に対応している。

ICSU さん下の委員会には、われわれに関連深いものとして、

海洋研究科学委員会 (SCOR)

Scientific Committee on Oceanic Research.

南極研究科学委員会 (SCAR)

Scientific Committee on Antarctic Research.

宇宙空間研究委員会 (COSPAR)

Committee on Space Research.

電波気象学連合委員会 (IUCRM)

Inter-Union Commission on Radio Meteorology.

太陽地球間物理学連合委員会 (IUCSTP)

Inter-Union Commission on Solar Terrestrial Physics などがあ
る。ただし IUCRM には日本学術会議は加盟して
いない。

これらの、委員会は、日本学術会議の、それぞれの特
別委員会と対応している。

政府間団体としては、国連機関では、次のようなもの
がある。

世界気象機関 (WMO)

World Meteorological Organization.

政府間海洋学委員会 (ICO)

Intergovernmental Oceanographic Commission.

政府間海事協議機関 (IMCO)

Inter-Governmental Maritime Consultative Organi-
zation.

国際民間航空機関 (ICAO)

International Civil Aviation.

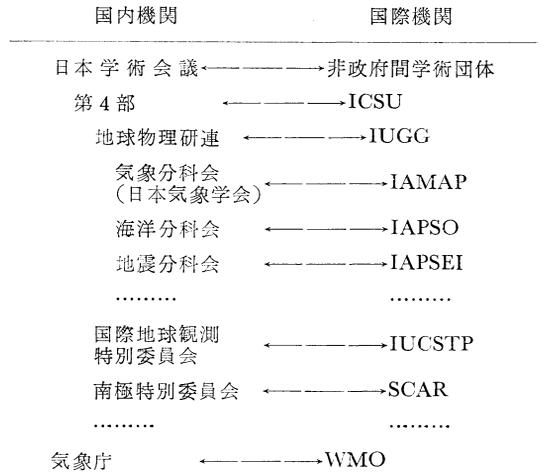
その他の政府間団体としては

国際海洋挿査協議会 (ICES)

International Council for the Exploration of the
Sea.

などがある。

以上、国内・国際機関の対応関係を一例としてまとめ
ると



のようになろう。

(神山恵三)

気象学会および関連学会行事予定

行 事 名	開 催 年 月 日	主 催 団 体 等	場 所
航空気象月例会	昭和47年 2月25日	日本気象学会	東京航空地方気象台
大気大循環と長期予報月例会	〃 2月25日	日本気象学会	気象庁予報部会議室
レーダー気象月例会	〃 3月10日	日本気象学会	気象庁
第2回都市・建築と気象シンポジウム	〃 3月11日	日本気象学会他3学会	気象庁
北海道支部研究発表会	〃 3月22日	日本気象学会	北大理学部2-301号室
春季講演会	〃 3月23日	日本気象学会	気象庁
春季大会	〃 5月16日 ~19日	日本気象学会	気象庁・気象大学校
International Radiation Symposium	〃 5月26日 ~6月2日	IUGG, 日本気象学会等	仙台市